



令和元年は どんな年でしたか？

今年、「平成」から「令和」に元号が変わり、5月に新しい気持ちで再スタートを切ったように思います。そして、気がつけば1年も終わりを迎え、3年生にとっては大事な受験が待っています。誰にとっても初めての経験。気持ちばかり焦って、何から始めればよいか、何も手に付かないという人がいまだに感じるように感じます。今年の冬休みは、足元をじっくりと固める時です。浮かれた気持ちを無くし、目標に向かってひたすら学習に励みましょう。土台＝基礎・基本が一番大切です。

また、ここ一番！で踏ん張るためには、健康が何より大事です。病気になっては、いくら頑張る気持ちがあっても、踏ん張ることはできません。食事・睡眠をしっかり取りましょう

3学期の始業式には、引き締まった顔つきになった皆さんに会えることを楽しみにしています。

保護者の皆様へ、令和元年、大変お世話になりました。受験生にとってはこれからが何より大事な時です。お子様の頑張りを、陰ながら応援していただければと思います。来年も宜しくお願いします。 3学年主任 今村恵美子



【推薦受験生徒】

☆12月27日（金）事前指導

9：00～12：30まで 作文・面接も含む

☆12月25日（水）作文練習希望者

9：00～11：00 ICT教室にて

令和元年はどんな1年でしたか？



今年の一文字は、

「令」：素晴らしい・良い・立派という意味がある。新年号「令和」になった年でもありました。県北中3年生は、どんな1年だったのでしょうか？

【3の1 遠藤くん】

「試」：今年は受験生で、入試に向けてかなり努力したと思うから。今まで勉強をそこまでやらなかったのだから、やりたくないことに目をそらさずにできたので良かった。自分がどの程度成長できたか入試で試してみたい。

【3の1 宗像さん】

「笑」：今年1年、特に後期は”笑う”ことがたくさんあったから。そして新しい出会いがあり、学校だけでなく家でもたくさん笑いがあったから。”笑うこと”が増えた1年だったから。これから来る春が、笑って迎えられるように頑張りたい。

【3の2 鈴木くん】

「終」：仲間と行ってきた行事や学校生活は楽しかったけど、一緒にいれる日数が少なくなってきたから。1日1日を大切に過ごしたい。

【3の2 菊地さん】

「瞬」：柏葉祭や修学旅行などの楽しい行事も過ぎ、あっという間に受験に時期になったので。一瞬で1年が過ぎてしまったように感じる。

【3の3 松浦くん】

「楽」：3年生になって、卒業するみんなと行事や普段の生活を楽しみたいと強く思っていたから。

【3の3 鴨田さん】

「汁」：汗の汁が流れるほど頑張った年でもあるし、給食の時、毎回汁ものを増やして、体を丈夫にした年でもあるから。

冬休みに向けて○○○ 学年集会実施



☆各クラスからの反省 3年1組

- 授業と休み時間のけじめがついているし、何より元気なあいさつができる。
- ルーティーンができていない人がある。(しかし、最近はできるようになってきた)
- 何をすべきかを自分で考えて行動できていない。

3学期に向けて

- ☆一人一人がめりはりをつけ、クラス全体で勉強のムードを作る。
- ▣簡単に合格すると思わない雰囲気を
- ☆卒業に向けて、後輩たちに感謝を伝えたい。

3年2組

- 男女の仲がよく、1分前着席など自分から行動できる人が多い。
- 授業と休み時間のけじめがついていない。
- ▣仲が良いことを生かして、互いに高め合っていきたい。

3学期に向けて

- ☆人から言われて行動するのではなく、自分から行動できるようにしていきたい。

3年3組

- 全員で協力しながら楽しく生活できた。
- 受験が目の前に迫っているのに、楽観的な考え方の人が多い。
- 3学期に向けて
- ☆呼びかけを行い、全員が自分の未来にまっす

ぐ向き合えるようなクラスにしていきたい。

学年運営委員長 太田さん

今、私たちの周りでは、「自覚」という言葉が飛び交っています。「県北中学校の最上級生としての自覚」「受験生としての自覚」「1人の人間としての自覚」・・・など様々です。

たった2文字で表されてしまう単語ですが、それを意識するかしらないかで私たちの将来の道は大きく左右されていくのだと思います。

先生方は、私たち3年生が目標に向かって進むことができるよう、ずっと支えて下さいました。

学年集会ではしっかりと話を聞いて、私たちにとっての「自覚」は何なのか、自分なりに考えて下さい。

♥来週の行事予定♥

	朝自習	○行事予定 ★提出・持参物
6月		☆成蹊・聖母推薦入試 
7火		☆東稜・聖光・学福推薦入試 ☆成蹊推薦合格発表
8水	読書	○第3学期始業式 ☆東稜・聖光・学福推薦合格発表 【完全下校14:40】
9木	読書	○木1・2・火3・4・木5・6 ☆聖母・学福一般入試
10金	読書	○実力テスト 1~5校時 ☆聖光推薦合格発表

☆ 1月11日(土) 聖母一般合格発表

1月8日(水) 第3学期始業式

8:00~8:15	朝の学活
8:20~8:50	始業式
9:05~9:20	美化作業
9:30~12:05	学活・水3・水4
12:05~13:20	給食・昼休み
13:20~14:05	水5
14:10~14:20	帰りの学活~
14:40	完全下校

冬休みの課題



- ・自主学習ノートは自主的に進める。
- ・卒業文集の下書き
- ・国語:ワーク P 97～習ったところまで
- ・数学:自分に必要な受験対策。数友を習ったところまで進めておく。
- ・社会:ワーク・課題プリント
- ・理科:ワーク P 66～p77まで
- ・英語:ワーク P 90～p107まで
- ・美術:お題を5までやっておく。

かるが故に書を読んで倦むことなかれ。学文に怠る時なかれ。眠りを除いて通夜に誦せよ。飢えをしので終日習え。

(かるがゆえにしよをよんでうむことなかれ。がくもんにおこたることなかれ。ねむりをのぞいてつうやにしゆせよ。うえをしのでひねもすならえ。)

(そういうわけなので、本を読むのは退屈だなんて思わずに、しっかり読み切りなさい。勉強するなら、さぼらないでやりなさい。眠気を払って夜通し読み通しなさい。お腹がすいても我慢して休まず習いなさい。)

☆ 寝ずに勉強を続けた福沢諭吉

なんとなくやるのではなくて、しっかり自分のものにできるように集中してやりなさい。という意味の言葉です。

つらい体験を乗り越えて、やり遂げたときには達成感があります。福沢諭吉は若い頃、大阪の適塾というところでオランダ語を習っていました。とても活気のある塾で、みんなが猛烈に勉強していました。あるとき、少し寝ようと思った諭吉は、枕を探しますが、見つかりません。そこで、諭吉は気づくのです。「そういえば、布団を敷いて枕で寝たことなんかなかったな」夜は寝ずに勉強をして、誰かが朝ご飯を作り始めた頃に、「ちょっと寝るか」と横になって、朝ご飯ができた頃にはまた起きて勉強するという毎日だったのです。諭吉たちがそんなに勉強したのは、何もお金になるからではありません。

難しいオランダ語を理解できるようになるのは自分たちぐらいしかいないだろう、という誇りを持っていたのです。これは大事なことです。

もちろん、毎日徹夜をして寝不足になるのはよくありませんが、そこまでして学ぼうとする姿勢は大切です。こういう特訓とか修行は人間を成長させます。

☆ やり遂げる覚悟を持つことが大切

マラソンのような長距離を走るのは苦しいものですが、ゴールしたときは充実感でいっぱいになります。私はそれを読書に応用して、音読マラソンというものを開いたことがあります。小学校3年生から6年生まで二百人ぐらいの子どもを集めて、夏目漱石の「坊ちゃん」を声に出して読んで、一日で読み切ってしまうという試みです。私が最初に「親譲りの無鉄砲で」と「坊ちゃん」の一節を読み、そのあとに子どもたちが「親譲りの無鉄砲で」と繰り返していくのです。

最後まで音読するのに六時間もかかりました。最初は一時間音読したら、「先生、疲れた」という子が出てきました。「疲れた人は立ってみよう。立つと元気になるよ」と私がいうと、立つのは嫌なので、それからは「疲れた人いる？」と聞いても、みんな「疲れていなーい！」というようになりました。

全員で六時間かけて読み切ったときは、ものすごい歓声が上がりました。「坊ちゃん最高！」と、みんな喜びました。最初のうちは「疲れた」と言っていたのに、六時間後には、「みんな元気？」と聞くと、「むちゃくちゃ元気！」と喋りだしているのです。

人間というのは、大きな力を秘めています。でも、ほとんどの力を使っていないのです。ですから、ときどきは自分の力の限界を確かめるために、特訓や修行をしてみるといいのです。野球の素振りでも、百回や二百回振ったぐらいでは何も変わらないと思いますが、一日千回ずつ、十日で一萬回振れば、変化が実感できるはずですよ。英語の単語を覚える時でも、一日に百個、二百個、三百個と覚えるつもりでやらないと、本当の力はつきません。

そういう特訓をするには覚悟が大切です。「負けないぞ」「やり遂げるぞ」と覚悟して始めるのです。昔の人は「そういう覚悟で勉強しろ」といっていたわけですね。みなさんも、昔の人に負けず、頑張ってください。

(子どもと声に出して読みたい「実語教」 齋藤孝 致知出版社)